

【全体概要】

イチゴのハダニ類に対する従来の防除対策では、定植前後にハダニ密度を低く抑えることが鉄則であったが、現状の技術だけでは密度増加を抑えられず、収量減少等の被害を引き起こしている。そこで、炭酸ガス処理と天敵利用を組み合わせたハダニ類の新規防除体系を確立し、害虫被害軽減による農家の経営安定を図る。

新品種・新技術等の概要

【新技術：高濃度炭酸ガス処理と天敵利用によるハダニ防除】

・高濃度炭酸ガス処理により、定植前のハダニを完全駆除することが可能となり、イチゴ本ぽでのハダニ防除が軽減され、収穫期の延長や収量増大に寄与することが期待される。

・定植前の高濃度炭酸ガス処理と定植後の天敵(カブリダニ類)利用を組み合わせた防除体系により、より効果の高いハダニ防除が期待される。



高濃度炭酸ガス処理装置

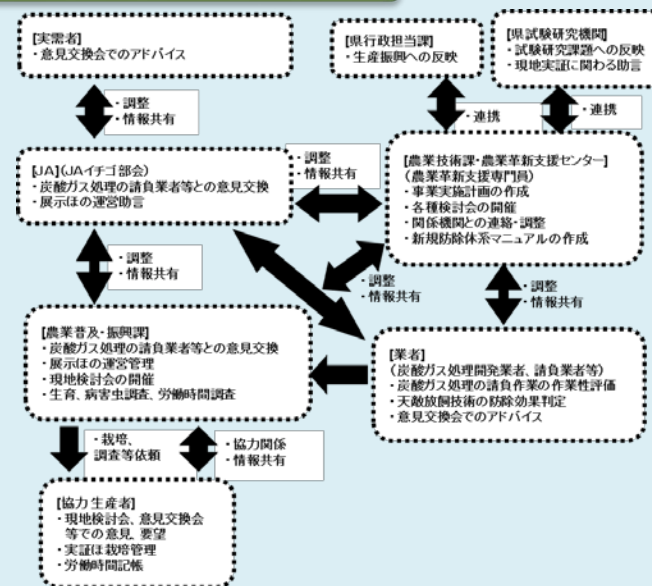
主な取組内容

- ・連携会議の実施
- ・実証展示ほの設置
- ・新技術現地検討会開催
- ・農家の労働時間調査
- ・成績検討会の開催
- ・実績報告集の作成・配付



現地検討会の開催

実施体制図



実績と今後の展開

【実績】

・「高濃度炭酸ガスハダニ防除システム(アグリクリーナー)」は、一度に11520株まで処理が可能で、定植前のハダニに対する防除効果が高かった。また、本ぽでの天敵利用により、ハダニ防除の相乗効果が高まった。

【今後の展望】

・導入コストとして110～130万程度かかるため、本技術の普及には、共同購入等による導入コストの低減対策が必要。